

徳州会病院事故対応訓練に参加しました！

▼交通事故の患者役で参加しました。本番さながらに消防と病院が連携しての訓練でした。私は手と足を骨折し、実際に救急車で運ばれて病院に運び込まれる役でしたが、医師や看護師が一人ひとりの患者に対してどのような処置が最適かを、真剣に議論している様子をすぐ近くで聞くことができ、大変有意義な体験をさせていただきました。



▲患者役を演じました

不登校特例校西濃学園を視察しました！

▼学校法人西濃学園（揖斐川町）を視察させていただきました。西濃学園は、不登校の子を支援するボランティア団体が前身で、2009年に西濃学園中学校を開校しました。山あいの町内で90%の生徒が寮生活をしながら学び、中学校は不登校特例校に指定されています。

▼現在、西濃学園には、不登校を経験した中学生、高校生が学んでおります。毎年、地域の運動会やお祭に参加し、地域の人も学校の草取りをしてくれたりと、地域と共にある学校です。来年4月には、東海3県では初となる高校の不登校特例校「西濃学園高校」を開校する予定です。北浦学園長は「自分で飯を食っていける人間になってほしい。卒業証書をもらうのが目的ではない。社会に役立つ人間になってほしい」と言っておられました。子どもたちは「社会の財産」だと思います。今後も、地域で西濃学園を支えていただきたいと思います。



ゾーン30が指定されました！

▼安井小学校周辺地域が「ゾーン30」に指定され、11月16日から運用開始となりました。



POINT
「ゾーン30」とは、特定の区域（ゾーン）において、車の最高速度を30キロ以内に制限して自動車事故を防ぐものです。

サンタになりました！

▼市内の保育所でサンタを務めさせていただきました。子どもたちにプレゼントをお渡ししました。「良い子でいたら来年も来るからね」子どもたちは本当にかわいいですね。



(写真：ドリームタッチ保育所にて)

好書好日 Good Life With Books

「残像に口紅を」 筒井康隆 中央公論社

▼TikTok（ショートムービーを投稿する動画 SNS）で紹介された小説が品切れになる「TikTok 売れ」という言葉が生まれるなど、出版界に影響を及ぼしています。1989年に出版された筒井康隆の『残像に口紅を』もそのひとつです。30秒動画をきっかけに、『残像に口紅を』はAmazonや書店に注文が殺到する事態に。そのすぐあとに3万5000部の緊急重版が決まり、書店や出版業界にも大きな衝撃が走りました。

▼30数年前、発売当初に本書を購入しましたが、実は本書は、発売当初から世間に大きなインパクトを与えていました。出版社が本の後半の部分だけを袋とじの形で売り出し、「ここまで読んで面白くなかったという方はこの本を送り返してください。代金を返します」と但し書きをつけていたのです。（右・写真のとおり）

▼物語は、日本語の“音”をひとつずつ消していくというルールに則って、実際に本書のなかの言葉が「あ」と「ば」からランダムに消えていきます。本書は読書好きな人にとって永遠の名作と呼べるような1冊です。文字がほとんど失われてしまう後半部では物語はどうなるのか、そして最後に消えるのはどの文字なのか――。衝撃的なラストは、実際に読んで確かめてみてください。

「ゼイチョー！～納税課第三収納係～（全4巻）」 慎結 講談社

▼本作は、市役所納税課職員が窓口と外回りで“地域の人と接する”物語です。幼いころに母親が税金未納で強制執行を受けた主人公は、大人となり市職員になりました。そして、住民税等の滞納整理等に追われながらも、納税相談者らに「苦しい時は『助けて』と言ってください」と手を差し伸べる“住民ファースト意識”を心強く感じさせます。

▼私も30歳からの4年間、大垣市役所納税課で徴税吏員として従事させていただきました。あれから20年経ちましたが「納めていただいた税金は大切にに使わせていただきたい」という気持ちは今も変わりません。今年も「初心」を忘れずに地域のために取り組んでまいります！

大垣市議会議員 種田昌克 活動報告

「はなしの種」 Vol.3



発行：おいだ昌克後援会
事務所：大垣市二葉町8-6-1
TEL/FAX：0584-77-2288
ホームページ：<https://oida-masakatsu.jp/>
E-mail：info@oida-masakatsu.jp



POINT
なんと！12月22日に大垣市がシステム会社と連携協定を締結。市内の文化施設等に「ポケット学芸員」が導入されることになりました。また、児童生徒のタブレットにも「ポケット学芸員」がインストールされることになりました！（新聞記事参照）

避難所受付支援システムについて

▼安井地区センターで開催した「避難所受付支援システム実証実験」では、自身のスマートフォンで、自分や家族の氏名、生年月日などの情報を登録しておけば、わずかな時間で避難所受付を終了することが実証できましたが今後の展望はどうですか。

A 今回の実証実験で得られた課題や参加者からいただいたご意見等を参考に、よりよいシステムになるよう改良を重ね、災害時に活用できるよう準備を進めていきます。

POINT
6月議会一般質問において「デジタル社会における避難所運営」に関して提言させていただきました。今回さっそく、その課題解決のための実証実験が開催することができました。各避難所の避難状況を効率的に把握し、迅速に被災者支援を行うためには必要なシステムです。今後ますますデジタル化を加速させて、少人数でも避難所運営ができる仕組みづくりを！

在宅避難啓発と食糧の受け渡しについて

▼災害時に避難所に多くの方が避難すると感染拡大のリスクが高くなるため、そのまま自宅で生活する「在宅避難」が増え、全国では啓発している自治体もあります。避難しなくても食糧がもらえる方法がきちんと周知できれば、安心して在宅避難を選択される方が増えると思えますが、本市の見解はどうですか。

A 食糧の配布等については、最寄りの避難所において避難者として登録していただくことにより対応します。

POINT
「在宅避難」とは、自宅が居住可能であれば、避難所に行かずに慣れ親しんだ自宅で生活を続ける避難のことです。

避難所施設指定管理者との協定締結について

▼指定管理者制度により運営されている公的施設は、全国で7万6千件以上にのぼります。しかし、自治体と指定管理者とのあいだで、災害などの非常時の対応について協定などがされていないのではないかと懸念があります。総務省によると、大規模災害等発生時の役割分担については全国の市区町村の57.2%、が協定締結しているとのことですが、本市の取り組み状況はどうですか。

A 市と指定管理者との間で締結している基本協定書において、災害時における双方の役割分担や費用負担を明確にしています。

POINT
指定管理制度は、公の施設の管理に民間のノウハウを活用し、サービス向上と経費削減を目的に、平成15年の地方自治法改正により創設されました。大垣市の指定管理制度導入施設は、66施設です。

種田昌克の 議会報告と一般質問

令和3年第4回定例会（2021.11.29～12.14）

歴史文化施設等の充実について

▼全国の博物館、美術館などでは、個人のスマートフォンで解説を聞くことができる「スマホ音声ガイド」が注目されています。実際に、福井市立郷土歴史博物館で「ポケット学芸員」というシステムを体験したところ、アプリ画面に展示番号を入力するだけで、音声解説を聞いたり、文字による解説を読んだりすることができました。

▼このシステムのメリットは、自身のスマートフォンを使用するため、新型コロナウイルスなどの感染の心配もなく衛生面で安心でき、作品を聴覚からも理解することもできる点にあります。また、作品鑑賞会などは開催日時や参加人数が限られていますが、音声ガイドであれば、時間を気にする必要もなく、誰もが手軽に解説を聞くことができます。

▼大垣城をはじめ郷土館、守屋多々志美術館など多くの文化施設に、「音声ガイド」を導入してはどうでしょう。

A 「音声ガイド」の導入について、検討してまいります。



災害協定先との連携について

▼本市は、企業や民間団体と災害時における避難所開設や物資の供給などさまざまな協定を結んでいます。日ごろから、相手方と顔の見える関係を築き、運用面などのシミュレーションをしておかないと実際の災害時において使えない協定となってしまうおそれがあり、協定先と日ごろからどのようなコミュニケーションや取り組みをされているか。

POINT 年度当初に、緊急連絡先等の情報交換を行うほか、総合防災訓練等にご参加いただくなど、顔の見える関係の構築に取り組んでいます。

POINT ホテルなどの宿泊施設が避難所として利用できるよう協定等の締結を推進していただきたいと思います。

大垣城ホール及び市民会館（新田町）の今後のあり方について

▼「大垣城ホール」は、昭和28年に「大垣市スポーツセンター」として建設され、昭和63年4月に「大垣城ホール」に名称変更しました。現在、1,180人の収容が可能な大ホールなど各種イベントなどで、年間約10万人の方に利用されています。

▼「市民会館」は、昭和43年に建設され、1,394人の収容が可能なホールをはじめ、芸術文化イベントや市民活動の発表などの会場として、年間約4万人の方に利用されています。

▼しかしながら両施設とも老朽化に加え、耐震性に課題があります。このため、今後の方針について検討することになりました。



【今後の方針】

- 大垣公園内において、大垣城ホールの改築を実施。現ホールは令和9年度に解体。
- 市民会館については、令和5年度末で廃止。令和6年度及び7年度に解体。
- 市民会館の改築は見送り。市民会館の機能の一部を併せ持つ施設として、新たな「大垣城ホール」の整備を検討する。

Point 1 大垣城ホール改築については、国の補助制度を利用できますが、市民会館改築には有効な補助制度がなく、改築するとすると、市の財政負担が大きくなり、市民のみなさんの負担増大となります。

Point 2 現在、大垣城ホールがある場所は、大垣城二の丸跡であり、重要な遺構（石垣など）が確認される可能性が高いといわれています。二の丸遺構を保存活用することにより、大垣城の魅力を大幅に向上させることが期待できます。

Point 3 市民会館には、矢橋六郎（1905～1988）のモザイク壁画「花の如くに」（1968）があります。（右写真）



土曜授業の廃止等について（小・中学校）

▼平成27年度から、市独自の教科として「ふるさと大垣科」を実施していますが、月1回の土曜授業での学習のため、児童生徒の学びの意識や意欲が途切れてしまったり、施設や講師の日程が合わないなどの課題がありました。

▼そのため、「土曜授業」については廃止し、学習の連続性を高め、施設の活用や講師の確保を容易にできるように平日に授業を実施することにします。1人1台のタブレット端末で「ふるさと大垣科」を学ぶことができるように教科書をデジタル化し、より効果的に学ぶことができますようにします。

▼これに伴い、授業時間確保のため、夏休みは8月28日までとなります（現在は8月31日まで）。長期休業明けは、生活のリズムがつかめない児童生徒がいますが、各学期のスタートを緩やかにすることで、学校生活をより円滑に開始することが期待できます。

学期	内容	給食
1学期	初日は始業式と学級活動等のみの「半日授業」	なし
2学期	学期はじめの3日間は「午前授業」初日は始業式と学級活動のみ。	あり
3学期	初日は始業式と学級活動のみの「午前授業」	あり

英語教育構想（小・中学校）

▼大垣市では、国に先立ち、平成18年度から「教科・英語科」を開始しています。現在、小学3、4年生は英語科（45分×35コマ）+朝などに行う短時間学習（15コマ）、5、6年生は英語科（45分×70コマ）+短時間学習（15コマ）を実施しています。VET（Volunteer English Teacher）やALT（Assistant Language Teacher）による授業もこれまでどおり行い、今後は、一人一台



タブレット端末を活用し、オンラインによる海外同世代の児童生徒との交流を実施し、「オンライン異文化コミュニケーション」を取り入れていきます。

▼また、小学6年生を対象に「Speaking Quest」（ベネッセ）を導入し、中学2年生を対象に「GTEC」（ベネッセ）を導入します。「GTEC」は、「聞く、読む、書く、話す」の4技能それぞれについて、生徒にスコアが数値と文章アドバイスでフィードバックされます。また、国際基準である「CEFR」での判定が可能です。ちなみに、大垣市東西南北、岐阜5校といった高等学校は「GTEC」を導入しています。



↑市内小学校3年生の英語の授業。大垣市では歌やゲームなどを楽しみながら英語が身に付くよう取り組んでいます。

アクアウォーク内にサービスセンターを設置します

▼ショッピングセンターや大垣駅の利用者が、買い物や通勤・通学のついでに各種証明書交付等の行政サービスを受けることができるよう、新たにアクアウォーク（林町）に「大垣駅北市民サービスセンター」を設置します。オープンは、来年4月下旬ごろの予定です。

POINT サービスセンターの業務内容
 ・住民票、戸籍・税の証明
 ・住民異動・出生、死亡届
 ・火葬申請・国保年金など

家庭系ごみ有料化計画について

▼大垣市では、平成6年から無料可燃ごみ処理券方式を開始し、5分別（もえるごみ、もえないごみ、大型ごみ、有害ごみ、資源ごみ）による収集、運搬、処理等を行っています。平成24年4月には、リサイクルセンターが稼働し、プラスチック製容器包装の分別収集が実現したことなどにより、ごみの減量化や資源化が進みましたが、近年は生活様式等の変化により、ごみの排出量は増加傾向にあります。

▼こうしたなか、令和3年9月に大垣市行政改革推進審議会から「ごみ処理券制度推進事業の見直し」についての提言があり、今後はパブリックコメントの実施、市議会への報告、周知説明会などを経て、ごみ袋有料化について審議していくことになりました。



▲リサイクルセンターにて。ひとかたまり40キロに梱包されます。

●県内の状況（県内42市町村調査）

項目	有料	無料
①もえるゴミ	40	2 岐阜市、岐南町（指定袋別途） ※大垣市、高山市は「無料可燃ごみ処理券」を配布しているが超過分は有料
②もえないゴミ	28	14 大垣市、垂井町、安八町、揖斐川町、池田町、岐阜市、各務原市、岐南町、北方町、郡上市、高山市、飛騨市、白川村

POINT 全国では、1,741市町村のうち1,108市町（63.6%）が有料化を実施。県内では、38市町村が有料ごみ処理券方式（大垣市、高山市）、2市が無料（岐阜市、岐南町）。

●大垣市のゴミ処理体系（経費および改正案と現行）

区分	処理単価	改正案(料金)	現行(料金)
もえるごみ(10kg)	547円	有料ごみ袋(大50円、小30円)	・無料可燃ごみ処理券(一定枚数) ・有料可燃ごみ処理券(150円)
もえないごみ(10kg)	1,441円	有料ごみ袋(大50円)	無料

平成29年度～令和元年度の平均経費

大…容量45ℓ、小…25ℓ

40mはしご車を体験しました！

▼大垣消防組合が市役所8階に取り残された人を救助する訓練を実施。救助者役をさせていただきました。このはしご車は高さ40mあり、普段は大垣消防本部（外野）に配備されています。大阪のクリニック放火事件でもはしご車が出動しました。とても重要な訓練だと思います。ただ、建物からはしご車のバスケットに乗り移る際には、絶対に下を見ないことが大切だと実感しました（目がくらみます）。



地下貯水池を見学しました！

▼浸水被害が発生している地域において、市は、排水路、調整池、排水機場などの整備を進めています。

▼今回は、本今雨水調整池（本今3丁目）を見学させていただきました。ここは水門川からの雨水を2,450㎡貯水することができる地下空間です。この施設おかげで、水門川下流の道路冠水などを減らすことができました。同様の施設は、赤坂地区センター駐車場地下、南中学校グラウンド地下にもあります。



▲深さ4mです

▲この空間に雨水がためられます。